



意識改革

SHOEI
PRINTING

S-PRESS
昭栄印刷株式会社
URL <http://www.shoei-p.jp>

会社概要

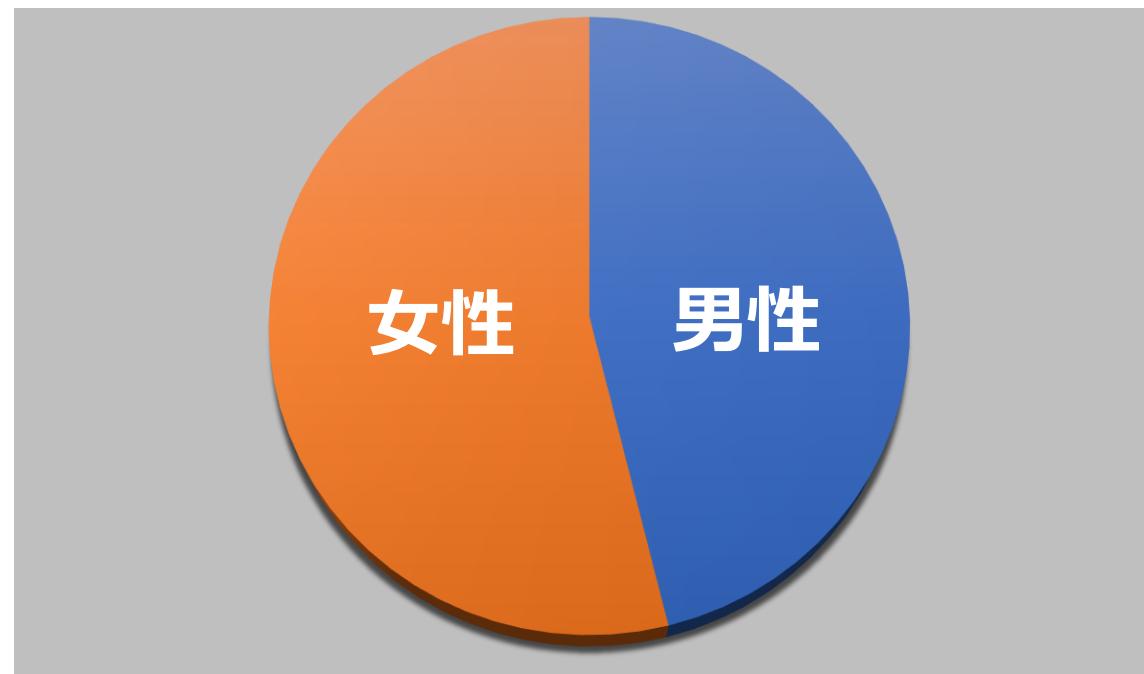
会社概要

社名 : 昭栄印刷株式会社
代表者 : 坂井 雅之
設立 : 昭和34年（1959年）
事業内容 : 印刷物全般・企画・デザイン
本社工場 : 新潟県新発田市住田97
各拠点 : 東京・大阪・ベトナム・中国



会社概要

従業員数 104人



平均年齢 34歳 女性社員割合 54%

【主な社内制度】

- ・男女とも育児休暇制度（取得率100%）
- ・全社員有給休暇 年10日以上取得
- ・フレックスタイム、時短勤務制度
- ・3年に1回 社員旅行
- ・家族会社見学会&懇親会（BBQ）



認証取得一覧

- ・ ISO14001（環境） / ISO9001（品質）
- ・ Pマーク（プライバシーマーク）
- ・ FSC認証
- ・ グリーンプリントイング認定工場
- ・ CSR認定企業
- ・ 新潟県工コ事業所
- ・ Ni-ful（ニーフル）認定企業
- ・ プラチナくるみん
- ・ イクメン応援プラス認定企業

地球温暖化対策に取り組む

優れた事業所



2022年 新潟県工コ事業所表彰

認証取得一覧

期限を決めて
温室効果ガス削減目標を設定
目標に向けての削減活動が認められ

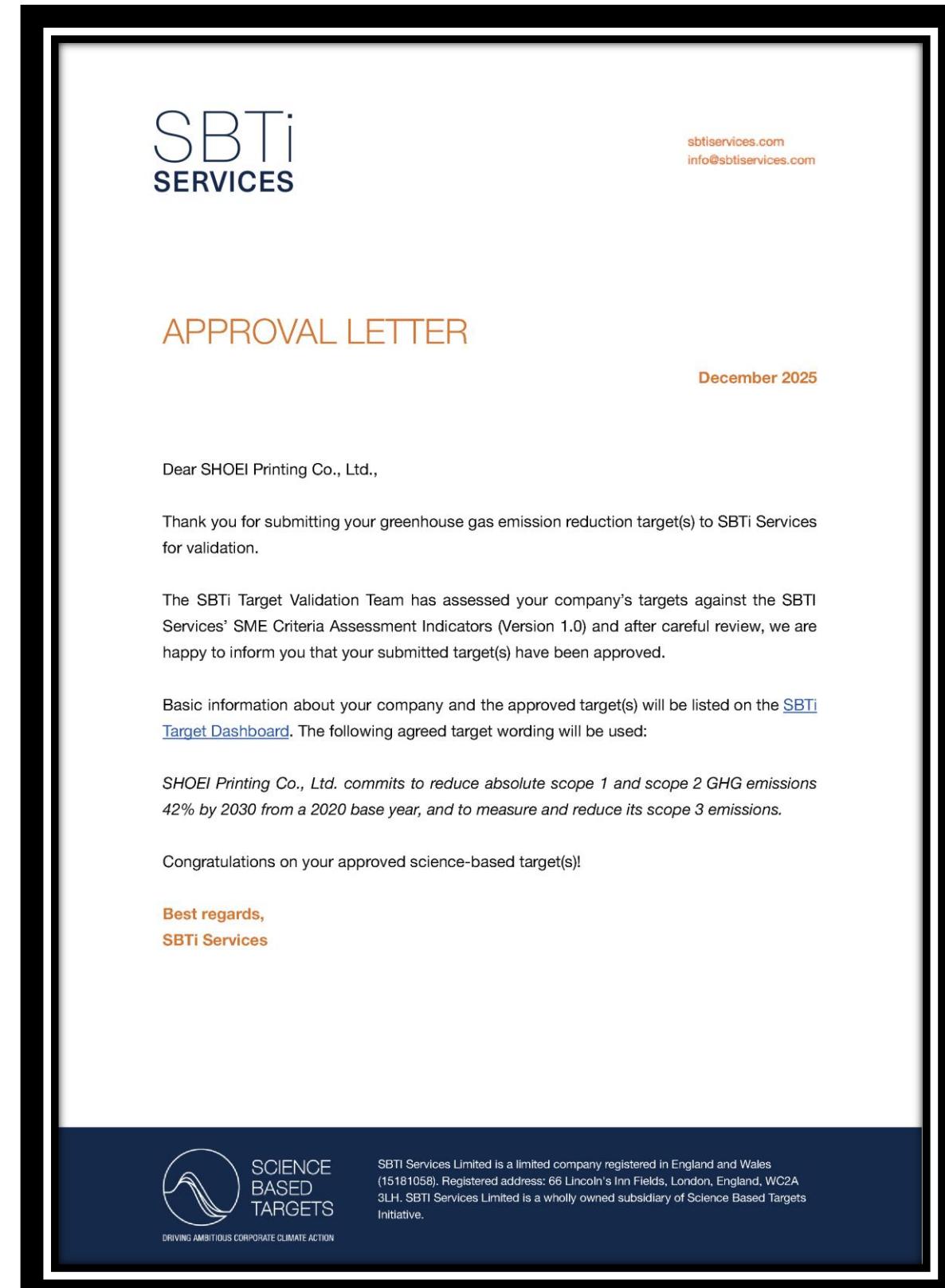
2025年12月

中小企業版 SBT認証取得



SCIENCE
BASED
TARGETS

DRIVING AMBITIOUS CORPORATE CLIMATE ACTION



会社概要

氏名 : 松田 康作
部署 : 生産管理部 課長
勤続年数 : 20年
主な業務 : 工場の生産計画
工場のDX化
品質管理責任者
環境管理責任者
安全管理責任者



取組事例

取組事例

太陽光パネル導入



工場の屋根全体に
太陽光発電設備を設置

社内の電気LEDに



社内の電気を
LED照明にすべて変更

省エネ型印刷機 2台導入



古い印刷機から
LED印刷機に切り替え

ガソリンからバッテリーへ



フォークリフトを、
ガソリンから
電動へ変更

問題点

環境改善活動を行っているが
主に設備導入

社員に
「環境改善活動をしている」
意識がない

担当者だけで環境改善活動を行っている

社員全員参加で環境改善が出来る会社にしたい

使用電力を見える化することで改善活動のやりがいに繋げたい

改善をやることで電力コストを抑えたい

解決策

解決策①

電力使用量の見える化



各機械の電力見える化装置
「ENIMAS」導入

ENIMASとは、
各機械が使用している
電力の使用状況を
リアルタイムに
見える化する装置

※SHIFT事業を活用しました

解決策

解決策①

電力使用量の見える化



ENIMAS専用Webアプリを使用してリアルタイムにパソコンやケータイで確認



いつ、どの時間帯で、どの機械がどれくらい電力を使用しているかがわかる
(電気料金もわかる)

各機械の電力使用量の把握

解決策②

環境改善プロジェクトチームの立上げ



選抜された
次世代のリーダーで構成
プロジェクトチームを中心に
社員全員で改善活動をする

20代、30代を中心とすることで
10年以上先まで継続して
改善活動ができるようにする

解決策③

評価制度の見直し



社員評価に
「改善活動項目」を追加
給与にも反映させる

表彰制度導入
優れた改善には「改善賞」として
会社から表彰される
(金一封がもらえる)

社員の意識を変える

解決策④

支援機関とのタッグ

支援機関

エネルギーソリューションジャパン (ESJ)



専門知識を学びより効果的な改善活動に繋げる

プロジェクトチーム&ESJで定期的な
「CAP会議」の開催

- Check (点検)
- Action (改善)
- Plan (ネクストアクション計画)



知識の向上

解決策からの改善例

改善例①

ピークカット

契約電力は、最大需要電力（30分間毎の平均使用電力のうち、月間で最も大きい値）で決まる

目標 450kwh（過去の使用量から設定）

【ENIMASで確認】
電力を一番使うピークが
印刷機4台同時の最大電力稼働+空調全台同時稼働時

【問題点】

このままでは7月・8月には450kwh以上になってしまう
(契約電力が上がり、電力コストUP)



改善例①

ピークカット

【対策】

印刷機の運用見直し
稼働を分散させることで
印刷機4台同時に最大電力にならない状況にする
(出勤、休憩、仕事内容の時間をズラす)

全社員にファンベストを支給し
空調も全台稼働しない状況にする



目標450kwhに対し 8月最大需要電力420kwh

改善例②

工場機械使用電力削減

【ENIMASで確認】

照明、空調、デジタル機器よりも工場機械稼働による電力使用量が多い

【問題点】

機械稼働時間をいかに短くするか

【対策】

作業効率UP

・各社員の作業記録をより簡単に

改善前：PCで詳細入力

改善後：ipadでスタート、ストップ



改善例③

その他の電力削減活動

照明の間引き



照度測定をしながら
無駄なLED照明を外す

断熱シートの運用



夏は外からの熱をさえぎり
冬は暖房の効果を逃がさない

結果

結果

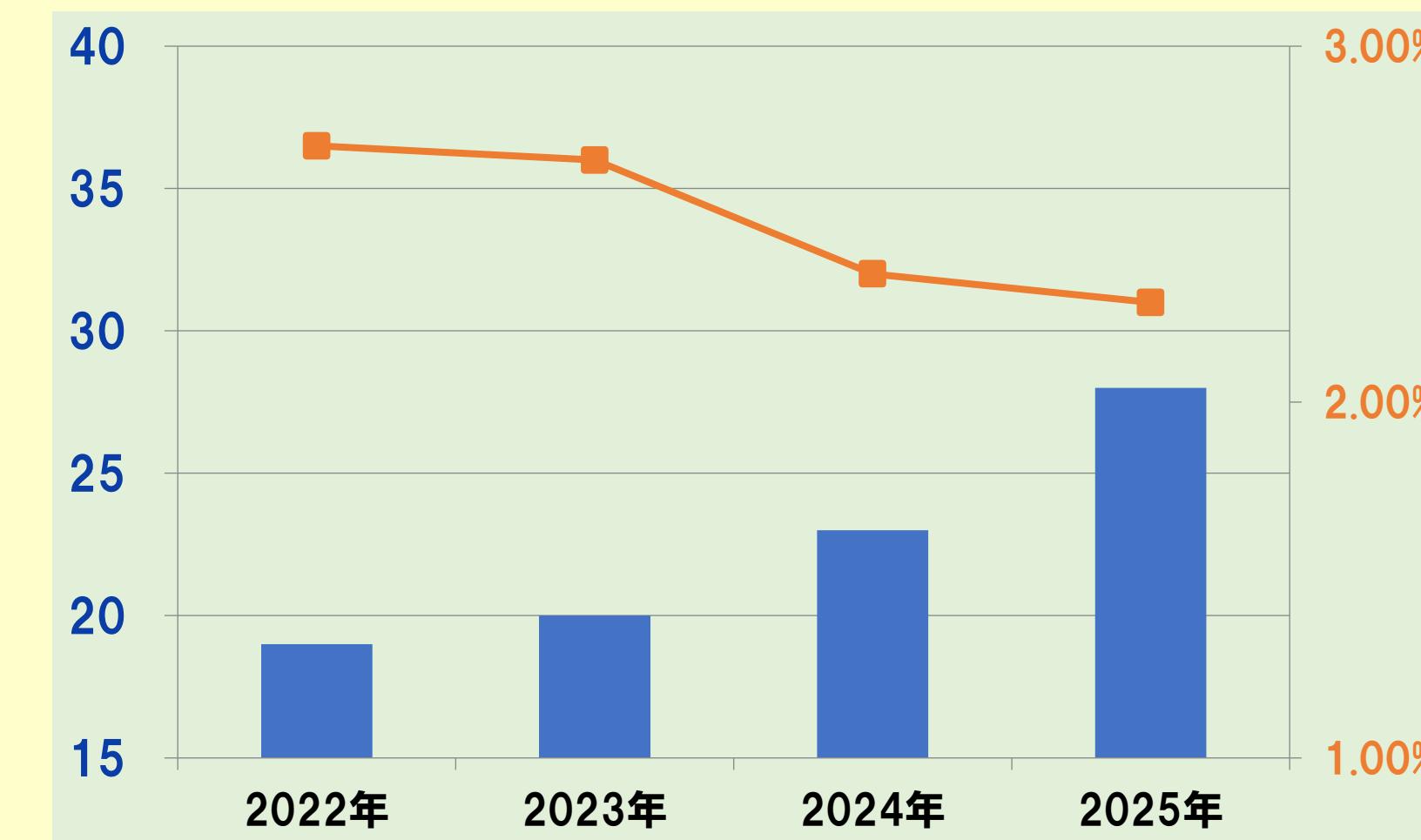
売上に対する電気料金割合

	売上	電気料金割合
2022年	19億円	2.72%
2023年	20億円	2.68%
2024年	23億円	2.36%
2025年	28億円	2.28%

ENIMAS導入
プロジェクト立上げ

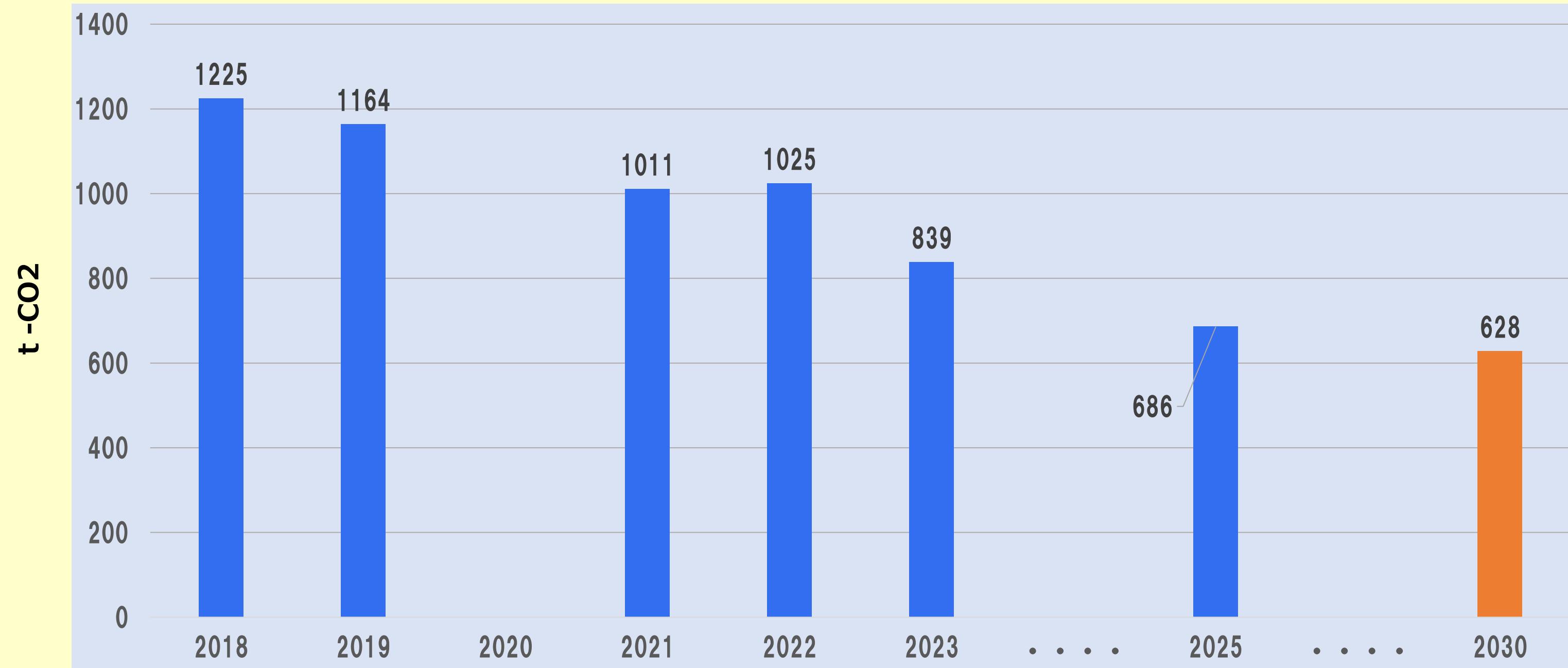
なにも改善をしなくて
2025年も2022年時の
電気料金割合（2.72%）だったら

約1,300万円の損失



結果

CO2排出量の推移



2018年から2025年までの推移と2030年の予測

今後の取組

今後の取組

換気扇運用見直し



稼働台数
稼働時間
が適正なのか見直し

空調設備の入れ替え



空調設備の老朽化に伴う
入れ替え

スマート工場へ



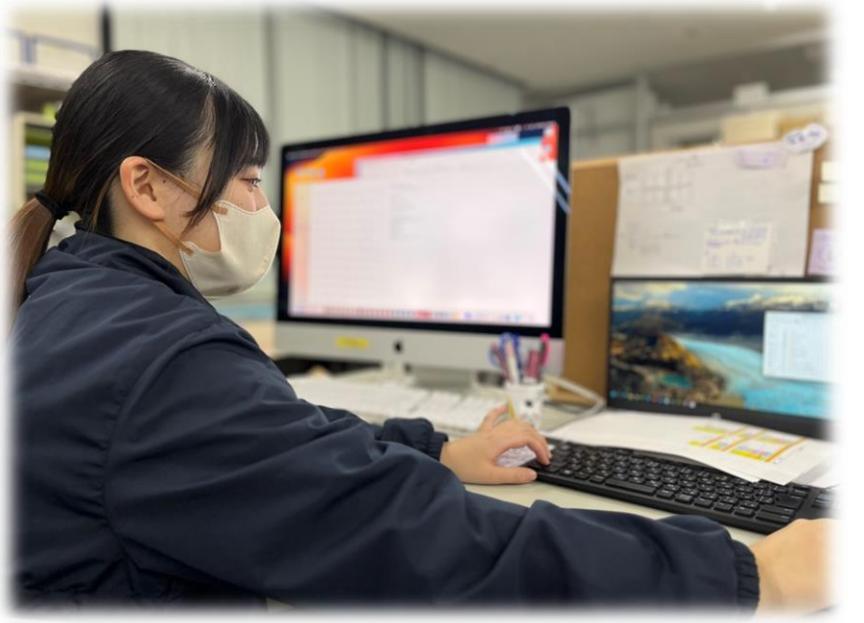
AIやロボット、
最新デジタル技術を
利用して
効率的な生産管理
品質管理を行う

まとめ

まとめ



使用電力が見えことで
結果が誰でもわかり
改善活動のやりがいに繋がり
社員一人一人の
意識が変わります



環境改善を進めると必然的に
働きやすい職場へと繋がり
社員のモチベーションUP



男女誰でも快適に
働ける・活躍できる
最高の職場をめざし
改善に終わりはありません



全てはみんなの
「幸せ」「笑顔」のために



「ずっと働きたい」
と
思える会社へ

